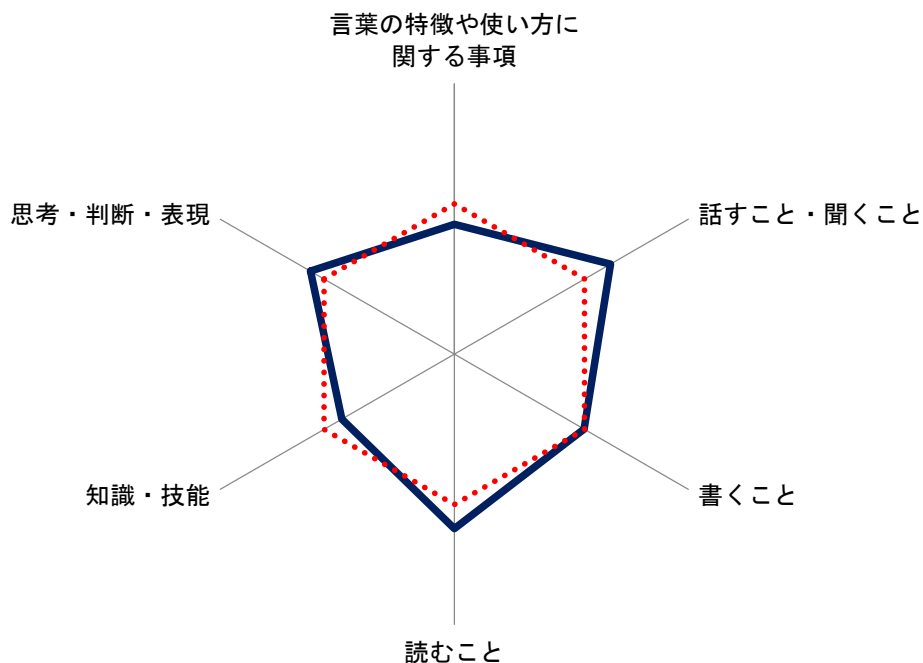


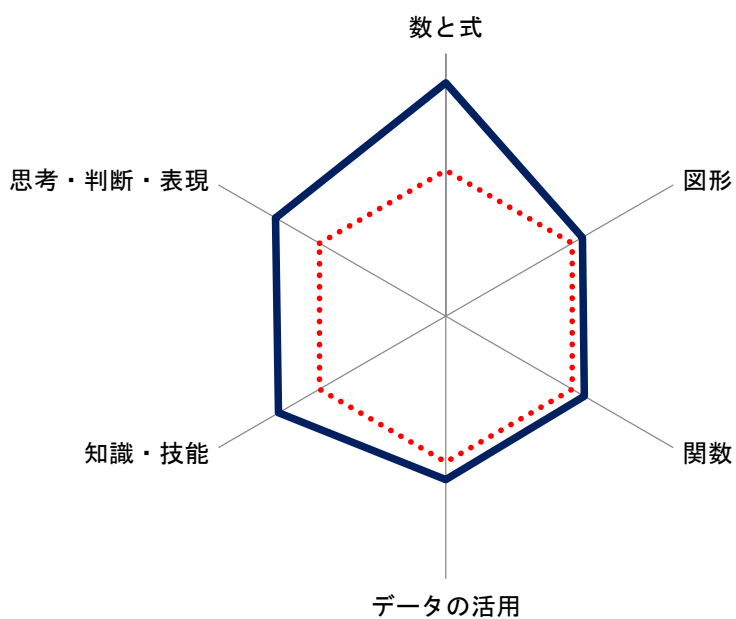
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 宇和島南
..... 全国平均



【数学】

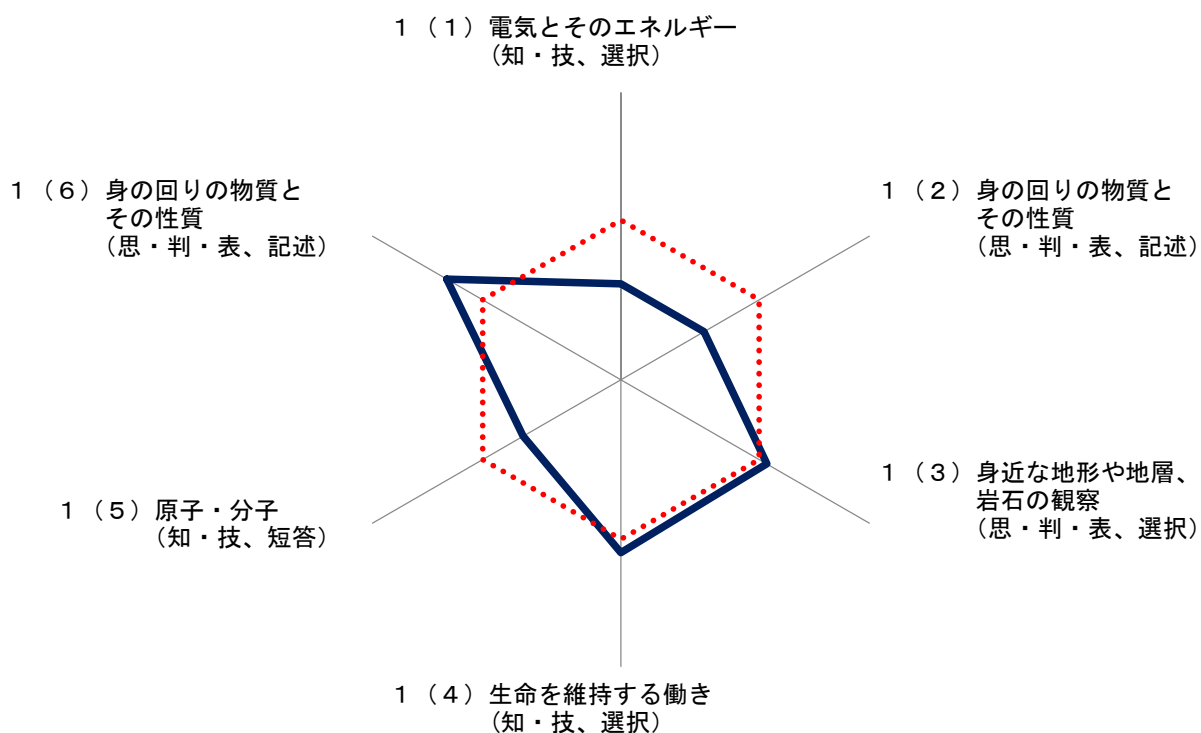


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

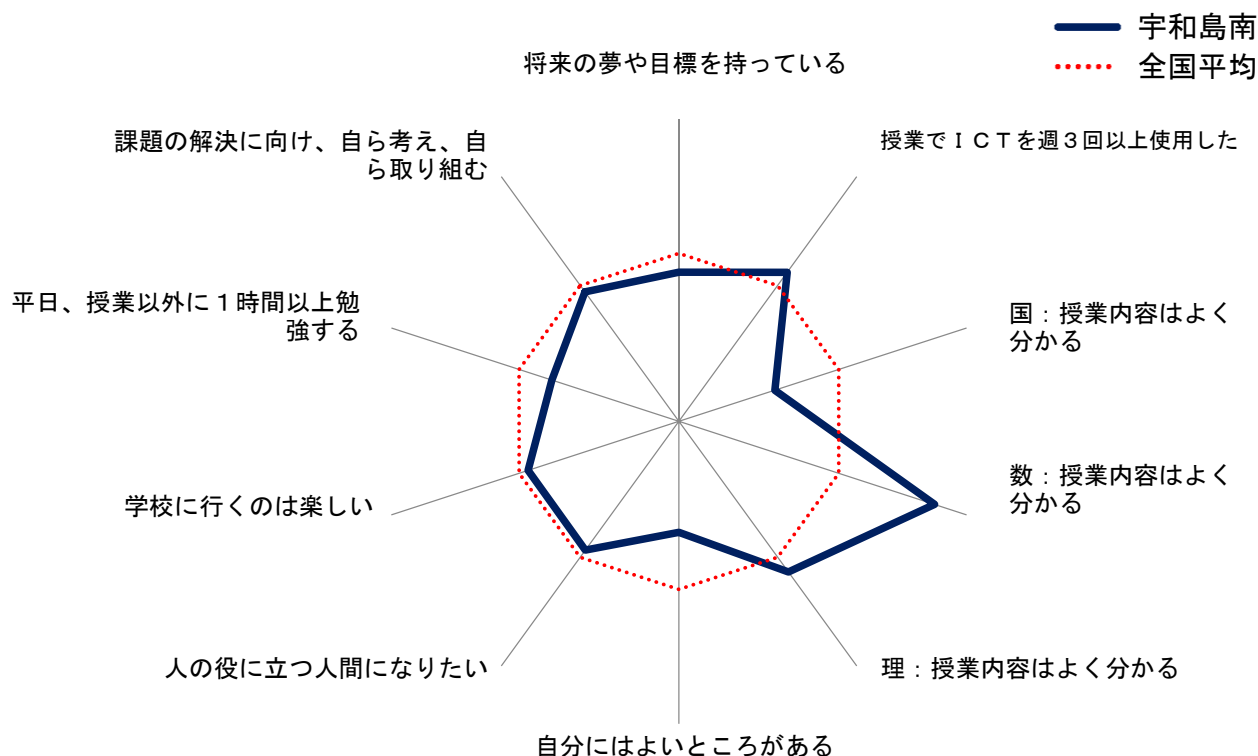
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 宇和島南
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

国語に関しては、「思考・判断・表現」は良好であるが、「知識・技能」にやや弱さが見られる。基礎的な語句や文法等の定着に努めることで、よりバランスの取れた学力向上が期待できる。数学は基礎的な「知識・技能」がしっかり身に付いている。また、「思考・判断・表現」も高く、基礎から応用まで高いレベルで力を発揮することができている。今後は、この強みを他教科や日常生活の課題解決にも生かしていくことが期待される。理科においては、電気とそのエネルギー、原子・分子の領域において全国平均を下回っており、得意分野、不得意分野がはっきり分かれる結果となった。また、観察・実験の記述や事象の表面的な説明はできる一方、原因を記述したり、学習した知識をもとに考察したりする問題等を苦手とする生徒が見受けられる。現在の本校の強みである数学的な思考力・判断力・表現力等の高さを生かすことができるよう、今後も継続して、知識の定着を図るとともに、丁寧な指導を心掛けていきたい。

生徒質問調査では、家庭学習時間の確保、自己肯定感の低さが課題として挙げられる。家庭学習の確保が学力向上につながるため、起床・就寝時間、家庭での学習開始時間を固定させ、規則正しい生活を実践していけるよう、生活面での指導を継続して行っていきたい。また、「分かる授業・身に付く授業」の実践を通して、自己肯定感を高め、生徒たちが自信を持って学校生活を送れるよう、全教職員が共通認識を持ち、取り組んでいきたい。